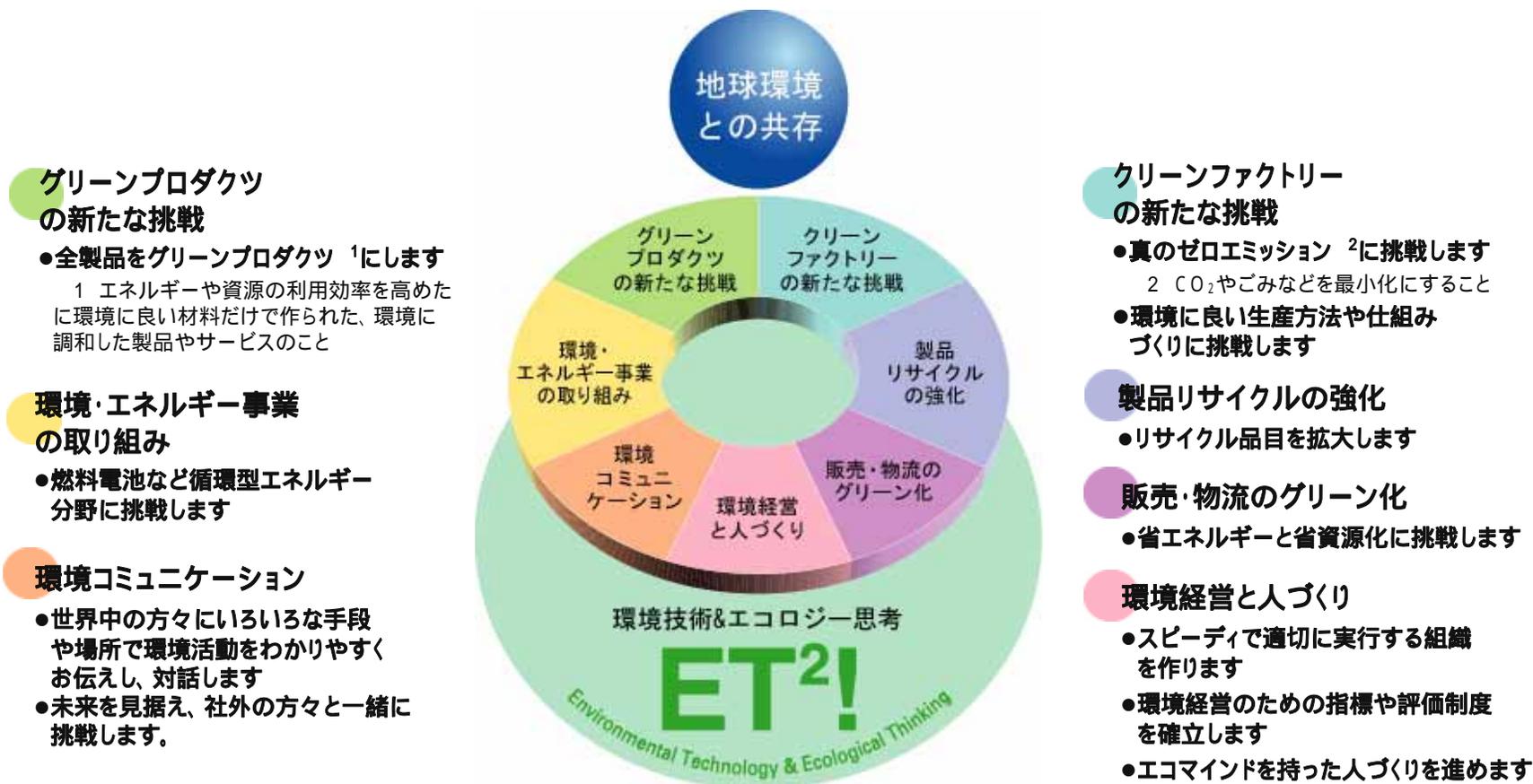


環境ビジョン

松下電器グループは、ET² (環境技術&エコロジー思考)で
「地球環境との共存」に貢献します



環境行動計画「グリーンプラン2010」

項目
グリーンプロダクツの新たな挑戦
クリーンファクトリーの新たな挑戦
製品リサイクルの強化
環境・エネルギー事業の取り組み
販売・物流のグリーン化
環境コミュニケーション
環境経営と人づくり



環境ビジョンに掲げた
7つの分野の50項目について
2005年と2010年の
具体的目標を定めた行動計画

環境立社の確立を目指す

環境立社

優れた環境配慮の製品・技術・サービスで
世界の環境保全に貢献

環境技術の創造

- ブラックボックス技術
- 新エネルギー技術
- システム・ソリューション技術
- リサイクル技術

国際競争力の強化

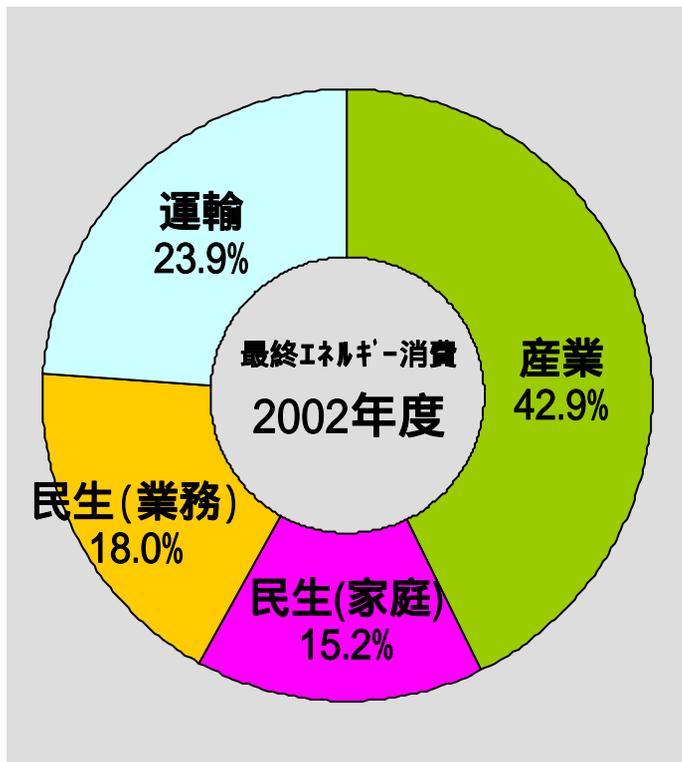
- 先進的な環境経営の実践
- 環境コミュニケーションの推進
- 産官学連携による
日本発の発信

社会からの「信頼」が企業活動の根幹

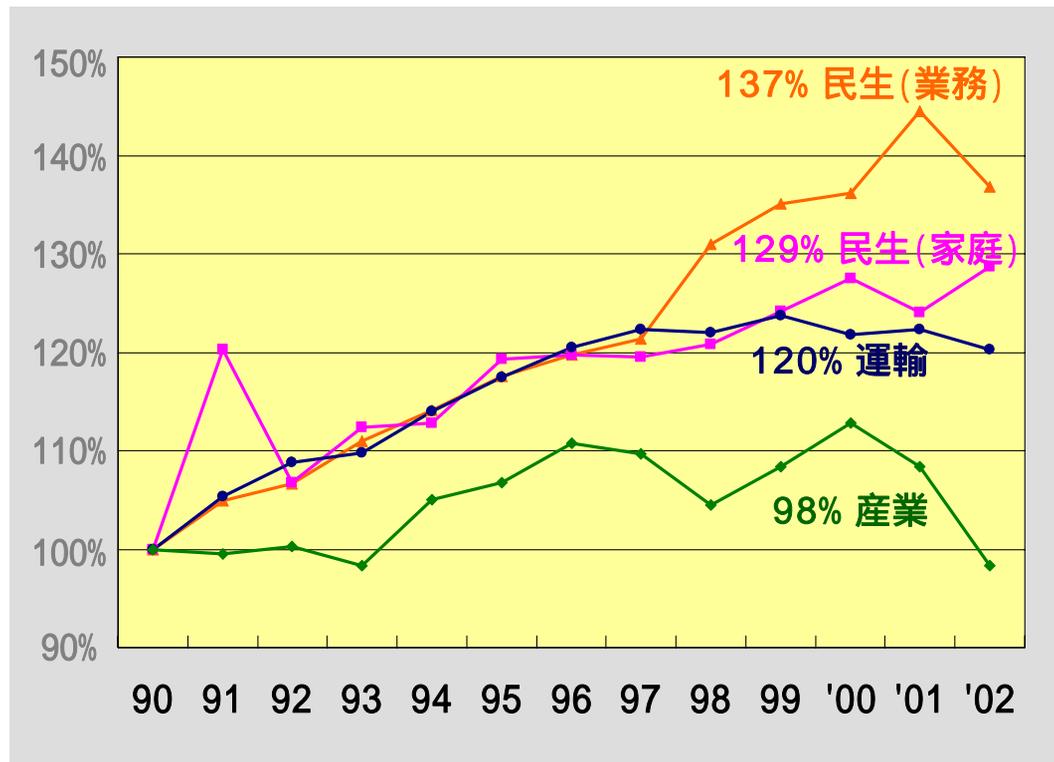
各部門でのエネルギー消費

家庭部門は、全エネルギー消費の15%、90年度比大幅に増加

部門別 エネルギー消費



部門別 エネルギー消費の増加



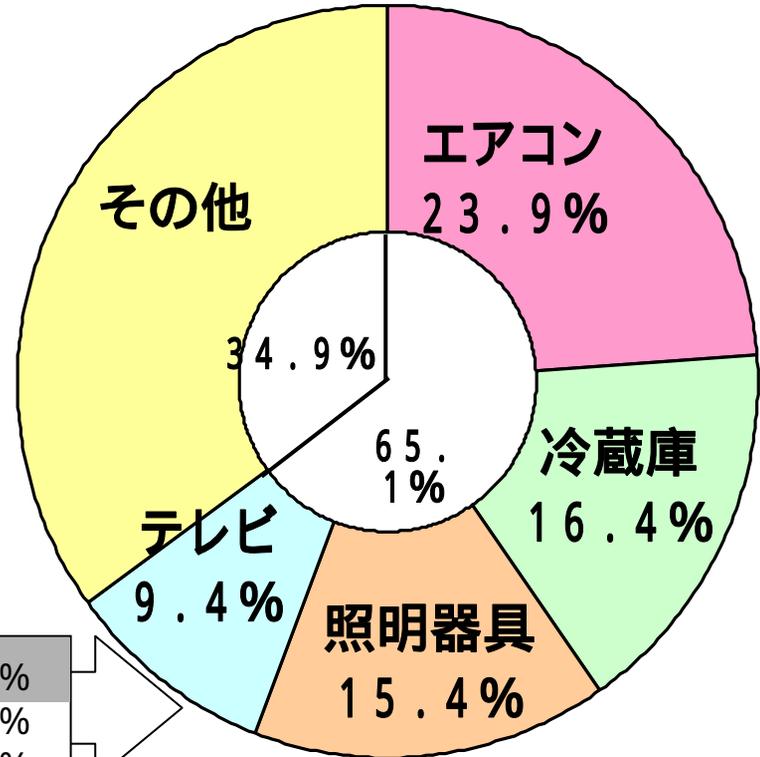
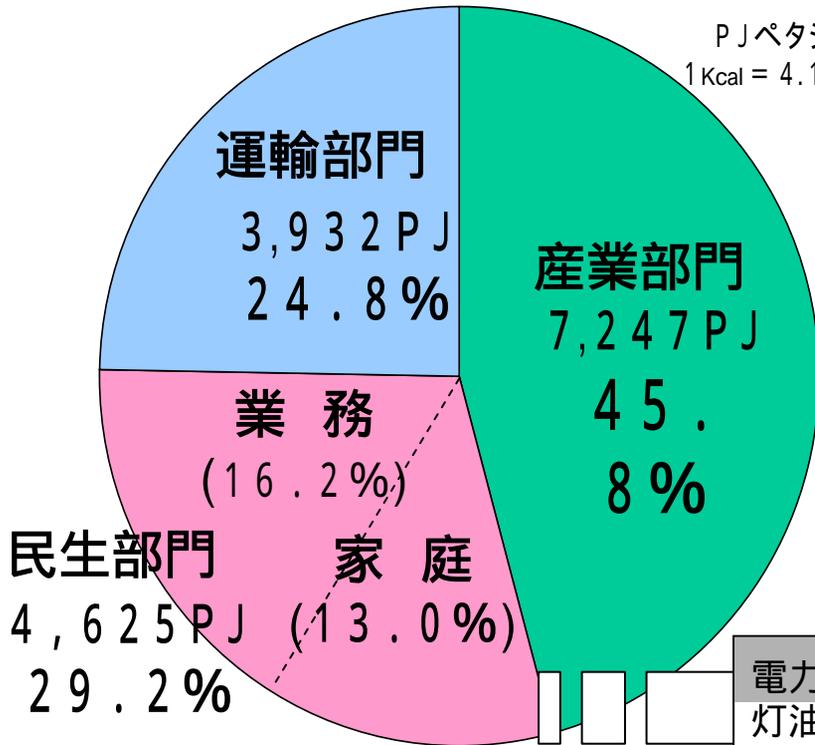
▶ 省エネルギー庁 エネルギー需給実績速報

日本のエネルギー消費

日本の最終エネルギー消費 15,805 PJ

家庭における電力消費のウェイト

PJペタジュール = 10¹⁵J
1 Kcal = 4.186 kJ



電力	43.6%
灯油	24.8%
都市ガス	17.9%
LPG	12.2%
その他	1.6%

出所: 2001年度エネルギー需給実績(速報)
資源エネルギー庁 2003.1発表

出所: 2000年度データ、
省エネルギー便覧2002年版による

松下グループの

- ・家電製品におけるエネルギー消費は、日本全体の1.1% (= 13.0% x 43.6% x 2割(シェア))
- ・工場におけるエネルギー消費は、日本全体の0.1%

「新たなくらし価値創造」の指標

$$\text{「ファクターX」} = \frac{\text{「製品・サービスの価値」の向上} \rightarrow}{\text{「環境への影響」の削減} \rightarrow}$$

「環境への影響」の削減

- 温暖化
- 資源
- 化学物質

```
graph TD; A[「環境への影響」の削減] -.-> B((温暖化)); A -.-> C((資源)); A -.-> D((化学物質));
```

ノンフロン冷蔵庫



NR - F461U

日本

- ・国内販売の100%をノンフロン化完了
(国内生産分、2004年4月)
- ・91年比 温暖化防止ファクター 5.2

中国

ノンフロン冷蔵庫を発売

ノンフロン対応と高い省エネ性

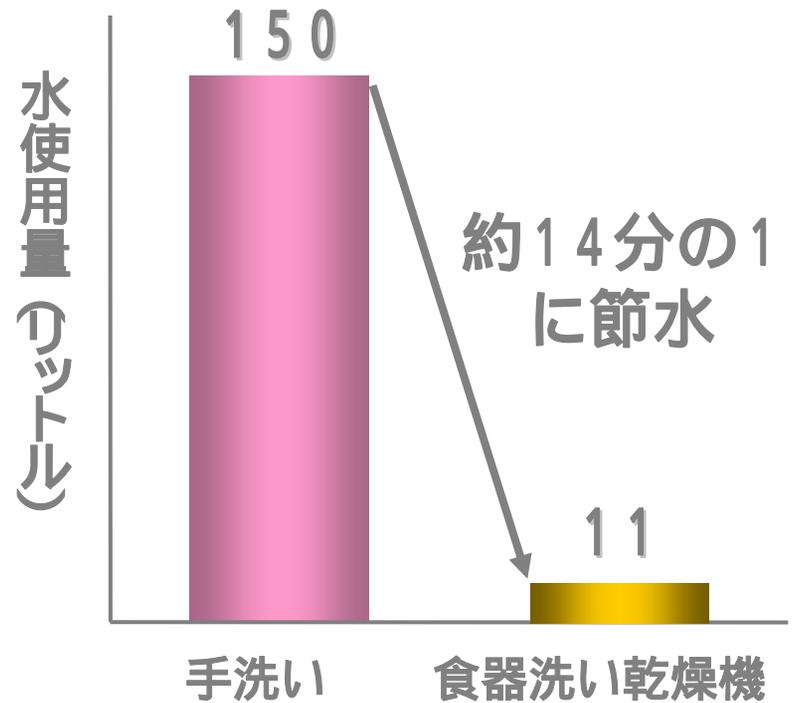


食器洗い乾燥機



- 食後のゆとり時間を創出
- 水資源の節約に貢献

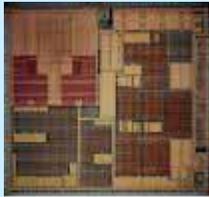
水使用量比較



「ブラックボックス技術」の創造

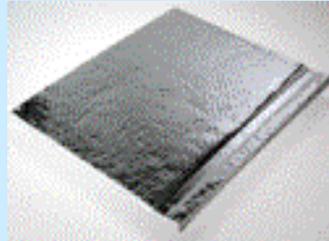
ブラックボックス

システムLSI
「PEAKS」



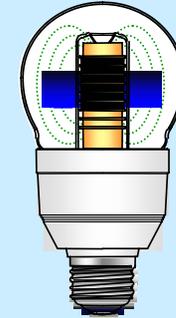
高画質・高音質

真空断熱材



省エネルギー

高周波インダクションコイル



長寿命・省エネ

商品



薄型デジタルTV



ノンフロン冷蔵庫



無電極パルックボール

家まるごと一軒のシミュレーション

生活の質

環境への影響

郊外戸建て(4LDK)
4人家族

1990年頃と2003年の
当社想定 라이프スタイルモデルで
家まるごと一軒をシミュレーション

2003年のライフスタイル



リビング



書斎



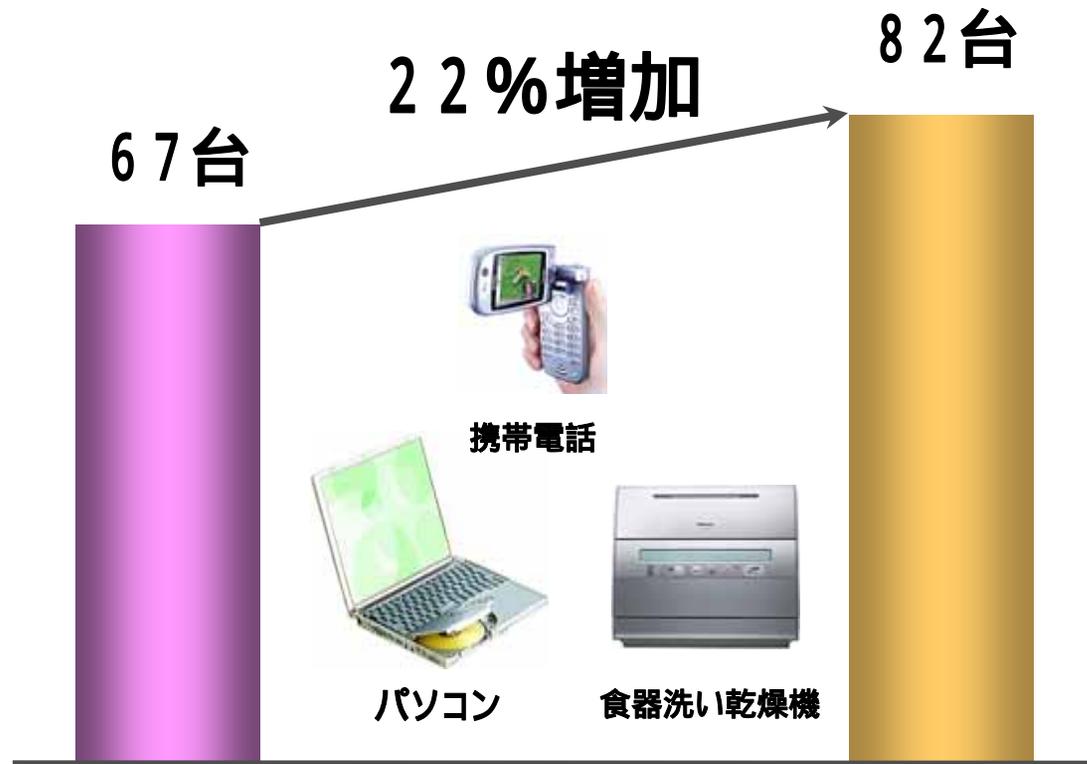
ダイニング



キッチン

「生活の質」の向上

家電製品の数
(1世帯)



1990年頃の
ライフスタイル

当社の提案する
現在のライフスタイル